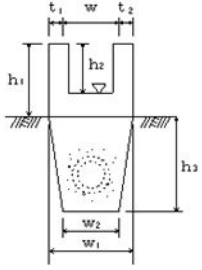
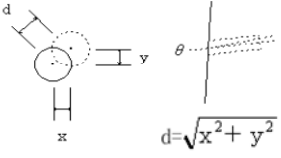
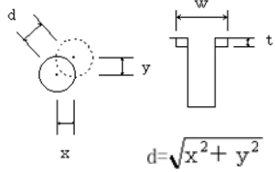


(新) 出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要		
第1章砂防堤	第3節 鋼製堰堤仮設材製作工	部材	部材長 \varnothing (m)	$\pm 3 \cdots \cdots$ $\varnothing \leq 10$ $\pm 4 \cdots \cdots$ $\varnothing > 10$	図面の寸法表示箇所で、任意の部分測定。		規格値の \varnothing に代入する数値はm単位の数値	
		第8節 コンクリート堰堤工	コンクリート堰堤本體工 コンクリート副堰堤工	基準高 ∇	± 30	図面の寸法表示箇所で、任意の部分測定。		
				天端部 w_1, w_3	-30			
堤幅 w_2								
水通しの幅 $\varnothing_1, \varnothing_2$	± 50							
堤長 L_1, L_2	-100							
第8節 コンクリート堰堤工	1-8-6	コンクリート側壁工	基準高 ∇	± 30	図面の寸法表示箇所で、任意の部分測定。 長さ、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。			
			幅 w_1, w_2	-30				
			長さ L	-100				
第8節 コンクリート堰堤工	1-8-8	水叩工	基準高 ∇	± 30	図面の寸法表示箇所で、任意の部分測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。			
			幅 w	-100				
			厚さ t	-30				
			延長 L	-100				
第9節 鋼製堰堤工	1-9-5	鋼製堰堤本體工 (不透過型)	水通し部	提高 ∇	± 50	図面の寸法表示箇所で、任意の部分測定。 ダブルウォール構造の場合は、提高、幅、袖高は十の規格値は適用しない。		
				長さ $\varnothing_1, \varnothing_2$	± 100			
				幅 w_1, w_3	± 50			
			下流側倒れ Δ	$\pm 0.02H_1$				
			袖部	袖高 ∇	± 50			
	幅 w_2	± 50						
	鋼製堰堤本體工 (透過型)			堤長 L	± 50	図面の寸法表示箇所で、任意の部分測定。		格: 格子型鋼製砂防ダム A: 鋼製スリットダム A型 B: 鋼製スリットダム B型 L: 鋼製スリットダム L型
				堤格	± 10			
				堤幅 W	± 30			
				堤幅格	± 10			
堤幅 w				± 5				
高さ H				± 10				
高さ A				± 5				
高さ H				± 5				
高さ A	± 5							
1-9-6	鋼製側壁工		提高 ∇	± 50	図面の寸法表示箇所で、任意の部分測定。 ダブルウォール構造の場合は、提高、幅、袖高は十の規格値は適用しない。			
			長さ L	± 100				
			幅 w_1, w_2	± 50				
			下流側倒れ Δ	$\pm 0.02H$				
			高さ $h < 3m$	-50				
			高さ $h \geq 3m$	-100				
第2章 魚道	第5節 床固め工	2-5-8	魚道工	基準高 ∇	± 30	施工延長100mにつき1箇所以上測定。 製品使用の場合の製品寸法は、規格証明書等による。		
				幅 w	-30			
高さ h_1, h_2	-30							
厚さ t_1, t_2	-20							
延長 L	-200							

(新) 出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第3章 第6節 山腹水路工	3-6-4 山腹明暗渠工	基準高 ∇	±30	施工延長100mにつき1箇所以上測定。 なお製品使用の場合は、規格証明書等による。		
		厚さ t_1, t_2	-20			
		幅 w	-30			
		幅 w_1, w_2	-50			
		高さ h_1, h_2	-30			
		深さ h_3	-30			
延長 L	-200					
第7節 地下水排除工	3-7-4 集排水ボーリング工	削孔深さ θ	設計値以上	5本につき1箇所以上測定。	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
		配置誤差 d	100			
		せん孔方向 θ	±2.5度			
3-7-5 集水井工	集水井工	基準高 ∇	±50	5本につき1箇所以上測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
		偏心量 d	150			
		長さ L	-100			
		巻立て幅 w	-50			
巻立て厚さ t	-30					
第9節 杭工	3-9-6 合成杭工	基準高 ∇	±50	10本につき1箇所以上測定。		
		偏心量 d	D/4以内 かつ100以内			

(新) 出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第1章 第4節 コンクリートダム	1-4 コンクリートダム工 (本体)	天端高	±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 堤高は、天端中心線延長を測定。 越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の 測定方法は、検査員の指示による。 監査廊の数高、幅、高さ、平坦性等の測 定方法は、検査員の指示による。		
		天端幅	±20			
		ジョイント間隔	±30			
		リフト高	±50			
		堤幅	-30, +50			
		堤長	-100			
	コンクリートダム工 (水叩)	天端高	±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 幅は、図面の寸法表示箇所で測定。 水叩の平坦性の測定は、検査員の指示 による。		
		ジョイント間隔	±30			
		幅	±40			
	コンクリートダム工 (副ダム)	天端高	±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 堤長は、図面の寸法表示箇所で測定。		
		ジョイント間隔	±30			
		リフト高	±50			
堤幅		-30, +50				
		堤長	±40			

(注)1. j : ジョイント

(新)出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第1章 第4節 コンクリートダム	1-4 コンクリートダム工 (導流壁)	天端高	▽ ±30	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 長さは、天端中心線の水平延長又は、測点に直角な水平延長を測定。		
		ジョイント間隔	±20			
		リフト高	±50			
		長さ	±100			
		厚さ	±20			
第2章 第3節 フィルダム	2-3-5 コアの盛立	基準高	▽ -0	5測点につき1箇所以上測定。 ※外側境界線は標準機種(タンピングローラ)の場合。		
		外側境界線	-0, +500			
		盛立幅	-0, +1000			
	2-3-6 フィルターの盛立	基準高	▽ -0	5測点につき1箇所以上測定。		
		外側境界線	-0, +1000			
	2-3-7 ロックの盛立	基準高	▽ -100	5測点につき1箇所以上測定。		
		外側境界線	-0, +2000			
2	フィルダム (洪水吐)	基準高	▽ ±20	図面の寸法表示箇所、任意の部分測定。		
		ジョイント間隔	±30			
		厚さ	t ±20			
		幅	w ±40			
		リフト高さ	±20			
		長さ	L ±100			
第3章 第3節 基礎グラウチング	3-3 ボーリング工	深さ	L 設計値以上	5本につき1箇所以上測定。 ※配置位置の規定は、コンクリート面で行うカーテングラウトに適用する。		
		配置誤差	100			